

新選組のふるさと日野

日野市観光協会



日野市観光協会

日野市落川1113 ☎042-591-1687

○モルール万願寺駅より徒歩2分

清谷山蓮華院真照寺の草創は、藤原氏全盛期の長和年間（1012～1016年）6月22日大雪が降って多くの民が餓死したので時の国司が天下泰平国土安穩を祈るために開基弘意僧都は長元9年（1036年）3月3日入寂と記録されており、中興の法流の善意僧都は16世紀後半天正年間（安土桃山時代）であり、現在はそれより16代目に当たる。

当寺は大正10年（中興14世野村宥慶坐廻の時）不慮の火災により、山門、本尊以外は、堂宇（9間～7間）、仏像、古文書等すべて焼失していましたが、焼失をまぬがれたご本尊様は元禄9年（1696年）の作で、山門は元禄15年の建立である。

なお、武相十三觀音の第8番の靈場として名高く、安産、子育觀音として世に広く信仰されている。

恵比寿天

日本古来の神様で、商業、漁業、海の守護神で、商売繁盛にご利益があるといわれ、一説には事代主命が釣を好むところからモルル化されたともいわれ、鯛は古来より福を表し、釣ザオが福を釣るといわれる。当山では恵比寿天を觀音堂に別勧請しております。



石田寺

日野市石田1-1-10 ☎042-583-6669

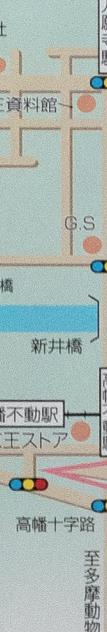
○モルール万願寺駅より徒歩5分

愛宕山石田寺は、今から640余年前の康安元年（1361年）6月22日大雪が降って多くの民が餓死したので時の国司が天下泰平国土安穩を祈るために開基弘意僧都は長元9年（1036年）3月3日入寂と記録されており、中興の法流の善意僧都は16世紀後半天正年間（安土桃山時代）であり、現在はそれより16代目に当たる。

当寺は大正10年（中興14世野村宥慶坐廻の時）不慮の火災により、山門、本尊以外は、堂宇（9間～7間）、仏像、古文書等すべて焼失していましたが、焼失をまぬがれたご本尊様は元禄9年（1696年）の作で、山門は元禄15年の建立である。

福禄寿

現世ご利益を一身に背負った福の神として描かれたのが福禄寿です。中国宋の道士南星の化身とも南極星の化身ともされ、人生の目的道教で理想とする幸福、福祿（給与）、長寿命の三徳をそなえるという。当山の尊像は「三徳福禄寿」と呼ばれている。



安養寺

日野市万願寺4-20-8 ☎042-581-3624

○モルール万願寺駅より徒歩5分

田村山極楽院安養寺は、真言宗智山派に属し高幡山金剛寺の末寺である。本堂（元禄時代初期、約300年前）は田村氏の書院の一部を使い建立されたものであり、また、庫裏（客殿）は本堂よりも古く約400年前に建立されたものと思われる。なお、このたび平成の大修理により、創建当時の姿を復元した。

本尊阿弥陀如来座像（都重宝）は、安養寺の前身である万願寺の本尊であったものと思われ、平安時代後期の作で端麗で細部の手法も見事である。また、藤原時代の毘沙門天像、鎌倉時代の大日如来立像等、多数の古仏を安置している。尚、毎年4月第1日曜に、毘沙門天大祭を行ない、護摩供養修し、張り子の虎を授与している。



高幡不動尊

日野市高幡733 ☎042-591-0032

○高幡不動駅より徒歩2分

高幡山明王院金剛寺は古來関東三不動の1つに挙げられ、高幡不動尊として親しまれている。古文書によれば、大宝（701年）以前の開創とも、奈良時代行基菩薩開基とも伝えられるが今を去る1150年前、平安時代初期に慈覚大師円仁が清和天皇の勅願によって当地を東閑鎮護の靈場と定め、不動明王をご安置したのに始まる。

そのち建武2年（1335年）8月4日夜の大風によって山中の堂宇が倒壊し、時の住僧義海上人が、康永元年（1341年）麓に移し建てたのが現在の不動堂（重文）で、関東稀に見る古文化財である。修復が完了した日本一の丈六不動三尊（重文）は、奥殿の正面から毎日自由に参拝することができる。

参拝時間 午前9時～午後4時



延命寺

日野市川辺堀之内595 ☎042-581-0503

○南平駅より徒歩20分

有王山地蔵院延命寺と称し、延命地蔵菩薩を御本尊とする寺である。数度の火災や住職のいない時代もあり開基不詳だが一説によると南北朝時代の創始とも新田義貞の鎌倉攻めで落武者となった内藤一族が帰農し戦死者や先祖を弔うため堂宇を建築したとも伝えられる。また、本尊作者が鎌倉初期の京仏師（1200年頃）である点、境内の文明の板碑（1470年、市指定文化財逆修版）とも云われ、生前に死後の安寧を祈願したもので市内唯一）江戸幕府初期の本末改め等から推測すると鎌倉時代の帰農武士が古い檀家の先祖と推測される。

また、毎月16日は本堂内に御安置の大聖歡喜天（聖天さま）の御縁日で午後2時から観音経誦説会が行われる。

壽老尊

長寿と智慧をさずける福神。中国生まれの人物と言われ、長い白髪をはやし、黒く粗末な姿は休みなく布教する姿。福德円満な姿は仏様のお心を表したお姿です。慈じむ眼で働けば、小植から福が無量に得られるご利益があると伝えられています。



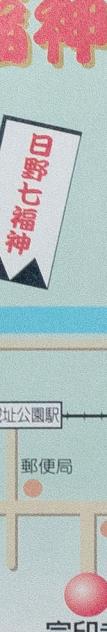
善生寺

日野市東豊田2-26-3 ☎042-581-2862

○南平駅より徒歩15分

当山は、江戸時代、豊田の地を知行していた地頭大久保勘三郎忠良殿が、寵愛の息女を僅か22歳で亡くし、その菩提所として正保2年（1645年）に建立した寺であります。平成10年、大黒天勧請を発願したところ予定地に大石があり、小石をたくさん含んだ大石で国歌の「ざざれ石の巖となりて」になぞらえた吉瑞石とみなして、大黒天をその石の上にお祀りしました。

お姿は昼夜問わずに布教しながら人々をお守りする姿。御名は開基大檀越が息女を大切にした心と、小石をたくさん含んだ大石に因み、子寶大黒天と命名されました。また、境内には丈六（4.8m余）の露座の釈迦牟尼大仏を祀り、広く信仰を集めています。



宗印寺

日野市平山6-15-11 ☎042-592-6699

○平山城址公園駅より徒歩5分

当山は大澤山宗印寺と称し開創は慶長4年の頃とされる。開山は袖木の永林寺第四世傑秀賢鷹大和尚といい、開基は知行の中山助六郎照守といいます。しかし開創前すでにこの地に一寺が在していたようですが、約七、八百年前より一庵が開かれていたようである。やがて廢庵となるも本尊の觀音菩薩が、人々の求めには必ず応え意の叶えられぬことがないという。そこで当地知行の中山照守は永林寺の傑秀賢鷹禪師に頼み此地に觀音菩薩を本尊として一字を建てたのがはじまりであると伝えられる。宗派は曹洞宗（禪宗）。境内には東國武士として一の谷の合戦で名をはせた、平山季重公の墓（都の旧跡）をはじめ、公の木彫座像や日奉地蔵、千体地蔵などがまつられています。

布袋尊

布袋様は中国の実在の禅僧で、いつもにこやかに笑っています。大きなお腹をしていて、たいへん親しみがあります。背負っている袋には福財が入っているといわれ、知恵と福徳を授ける神として信仰されています。



大黒天

大黒天はインド出身の神様で、仏様の教えを戴き布教しながら人々をお守りする神様です。黒く粗末な姿は休みなく布教する姿。福德円満な姿は仏様のお心を表したお姿です。慈じむ眼で働けば、小植から福が無量に得られるご利益があると伝えられています。

京王線で初詣
京王電鉄株式会社

日野七福神めぐり